

## 保安検査の方法（液化石油ガス岩盤備蓄基地関係）について

平成25年2月20日  
経済産業省  
商務流通保安グループ  
高圧ガス保安室

## 1. 保安検査規格の審査・評価

高圧ガス保安法に基づく保安検査の方法は、学会等民間団体が作成した設備の実態等に即した保安検査の方法を告示で指定している。当該検査方法を告示として指定するにあたり、透明性・中立性を確保しつつ専門的知見を持って審査・評価を行う必要がある。このため、平成24年11月28日の第1回高圧ガス小委員会において、保安検査規格審査WGを設置し、本WGにおいて学会等の民間団体等から告示指定の申請があった保安検査方法については審査・評価を実施。

## 2. 審査状況

平成24年11月19日付けで高圧ガス保安協会会長から経済産業大臣宛てに、高圧ガス保安協会の策定した「KHK/JOGMEC S 0850-8(2012)保安検査基準（液化石油ガス岩盤備蓄基地関係）」の保安検査規格について、高圧ガス保安法に定める保安検査の方法として告示指定することの申請があったことから、保安検査規格審査WGにおいて保安検査の方法として指定することが妥当かどうかについて審査・評価を行った。

第2回WGで、高圧ガス保安協会から申請のあった、「KHK/JOGMEC S 0850-8(2012)保安検査基準（液化石油ガス岩盤備蓄基地関係）」については、液化石油ガス岩盤備蓄基地の保安検査の方法として妥当との評価を得た。

（経過）

- |     |           |             |                           |
|-----|-----------|-------------|---------------------------|
| 第1回 | ワーキンググループ | 平成24年12月28日 | ・保安検査規格の説明<br>・質疑応答       |
| 第2回 | ワーキンググループ | 平成25年2月15日  | ・保安検査規格の妥当性の審議<br>・評価書の審議 |

## 3. 今後の対応

評価書を受け、保安検査の方法を定める告示を改正し、「KHK/JOGMEC S 0850-8(2012)保安検査基準（液化石油ガス岩盤備蓄基地関係）」を保安検査の方法として位置づける。

#### 4. 保安検査規格審査ワーキンググループ委員名簿

(座 長)

小林 英男 (国) 横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター客員教授

(委 員)

荒居 善雄 (国) 埼玉大学大学院理工学研究科教授

大谷 英雄 (国) 横浜国立大学大学院環境情報研究院教授

越 光男 (国) 東京大学大学院工学系研究科特任教授

辻 裕一 東京電機大学工学部機械工学科教授

西垣 誠 (国) 岡山大学環境生命科学研究科教授

野崎 正志 岡山県消防保安課長

三宅 淳巳 (国) 横浜国立大学大学院環境情報研究院教授

横山 千昭 (国) 東北大学多元物質科学研究所教授

吉川 暢宏 (国) 東京大学生産技術研究所教授

吉野 英徳 愛媛県県民環境部 防災局 消防防災安全課長

(五十音順 敬称略)